

万治の石仏

まんじのせきぶつ



万治の石仏 おみやげはコチラ! 詳しくはWEBで 下諏訪観光協会 検索

- 1 食祭館 ☎26-4931
- 2 オルゴール記念館 すわのね ☎26-7300
- 3 しもすわ今昔館おいでや/下諏訪観光案内所/おんばしら館 よいさ ☎27-0001 ☎28-2231 ☎26-0413

- 4 新鶴本店 ☎27-8620
- 5 フレール洋菓子店 ☎27-1879
- 6 パン工房 たるかわ ☎26-7915
- 7 福田屋本店 ☎27-7397

万治の石仏のすぐ近く! おんばしら館 よいさ

〒393-0092 長野県諏訪郡下諏訪町168番地1
Tel/Fax 0266-26-0413
開館時間 9:00-17:00
休館日 年中無休(臨時休館あり)
入館料 大人 300円 子ども(小・中学生) 200円 木落し体験 200円



祭りの文化がここに
諏訪の祭文化に触れる空間。
諏訪人の魅力を感じる。
七年に一度、開催される「御柱祭」。

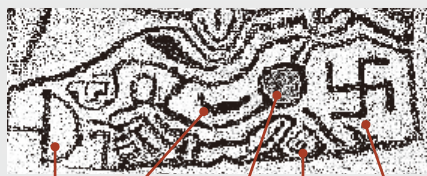
おんばしら館
よいさ

※駐車場はございません。

万治の石仏とは

諏訪大社下社春宮の近くの砥川沿いに鎮座する万治の石仏。自然石のてっぺんに、ちょこんと首が乗るアンバランスな風貌とユーモラスな表情が特徴です。

胸には逆卍(まんじ)や雷・太陽・雲・月などの記号や絵が、手を組んだ右側には南無阿弥陀仏の文字が彫られています。これは大日如来を教主とする密教の曼陀羅(まんだら)で、阿弥陀如来と大日如来を一体の石仏に共存させた「同体異仏」を、信仰する密教集団の「弾誓上人(たんせいしょうにん)(1551~1613)」を祖とする浄土宗の一派です。万治の石仏は、この弾誓上人の供養塔であるといわれています。



月 雲 太陽 雷 逆卍

岡本太郎と万治の石仏

万治の石仏を世に出した人物として、日本を代表する画家、岡本太郎が有名です。下諏訪の歴史的な情緒を好んだ岡本太郎は、昭和49(1974)年の諏訪大社御柱祭でこの地を訪れ、この石仏を発見し【世界中歩いているがこんな面白いもの見たことがない】と絶賛しました。これ以降、新聞や雑誌で万治の石仏が紹介されるようになり、次々と人が訪れるようになりました。

この石仏は自然石で、石質は安山岩でつくられています。

- 高 さ … 2m60cm
- 横 … 3m80cm
- 奥行幅 … 3m70cm
- 胴 回り … 11m85cm

万治の石仏とその伝承

明暦3(1657)年、諏訪高島藩の第三代藩主諏訪忠晴が、諏訪大社下社春宮に、石の鳥居を寄進しようとした時のことです。これを請けた石工が、この地にあった大きな石を加工しようとノミを入れたところ、その石から血が流れ出しました。驚き恐れた石工は鳥居を造ることをやめ、この不思議な石に阿弥陀様を刻み、この石仏を建立したと伝えられています。

この石仏を建立した願主の名前は、名号碑の左袖に右記のように刻まれています。その碑名から、願主は浄土宗の僧侶であることがわかります。

願主 明誓浄光
心 誓廣春
南無阿弥陀仏



監修：蟹江文吉

万治の石仏 お参りについて

その一



正面で一礼をする

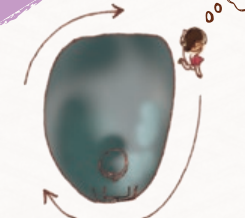
その二

「よろず
おさまり
ますように」

と心で
念じる



その三



石仏の周りを、願い事
を心で唱えながら
時計回りに三周する

その四



正面に戻り
「よろずおさめました」
と唱えてから
一礼する

下諏訪観光協会・下諏訪商工会議所 提案



お問い合わせ

下諏訪観光協会 ☎0266-26-2102

<http://shimosuwaonsen.jp/>
長野県諏訪郡下諏訪町4613-8(下諏訪町産業振興課内)



ご宿泊については

下諏訪観光案内所 ☎0266-28-2231

長野県諏訪郡下諏訪町5317(JR下諏訪駅構内)
*水曜日定休

発行／下諏訪観光協会